

スポーツ健康学部スポーツ健康学科 カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	① スポーツ・健康に関する基本的知識を理解し、健康・体力の維持向上に対する運動・スポーツの効果を説明することができる。 ② 学校、企業、地域などにおけるスポーツ振興や健康増進活動を理解し、その概要と課題を説明できる。 ③ 主要な運動種目の技能、および指導の基本を実践できる。
	【思考・判断・表現力】	④ 情報を整理し、その結果をまとめるとともに、それらに関するプレゼンテーションを行うことができる。 ⑤ 社会におけるスポーツや健康に関する課題の実態を把握し、その関連要因、解決方法あるいは改善策を提示することができる。
	【態度】	⑥ 運動や健康に関する教育・指導に関して、実施の対象や諸条件に合わせて適宜企画し、実践の場面で臨機応変に改変し対応することができる。 ⑦ スポーツや健康に関する情報を積極的にかつ広範に求める態度を身につけている。 ⑧ 課題解決に対して常に積極的に周囲と協力して取り組む態度を身につけている。 ⑨ 教育・指導の場面においては参加者(受講者など)の立場を考慮することができる。

分野	科目名	ナンバリング	科目概要(*1)	カリキュラム・マップ									AL(*2)							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨								
スポーツ実技科目	スポーツ実技1(体づくり運動)	SH1305	「体ほぐしの運動」と「体力を高める運動」の必要性を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた運動を計画的に実施できる資質や能力を養成することを目的とする。具体的には、体ほぐし運動やコミュニケーションゲームを通して、基礎的な運動の行い方を習得する。また、各種の用具を使った運動の実践により、発展的な動作について身体的な見識を深め、対象と目的に合わせた運動の計画が立案出来るようになる。	○	▲	◎		▲												
	スポーツ実技2(器械運動)	SH1306	マットとび箱・鉄棒・平均台運動の技能の習熟を図るとともに、指導法についても学習する。動きの善し悪しを判断できるようにし、きる喜びと可能性を知る。	○		◎														
	スポーツ実技3(陸上)	SH1307	教職課程で必要な科目であるため、最低ラインの実技能力と指導する過程を理解し実際に指導できるように学習する。また各種目の原理を理解し、練習方法を立案できるように進めていく。	○		◎														
	スポーツ実技4(水泳)	SH1308	クロール、平泳ぎを中心に、続けて長く泳いだり速く泳いだり出来るようになること、競い合うなどの楽しさを味わえるようになること。中学校、高等学校の学習指導要領を理解した上で、技能向上を図り、さらに指導法について学ぶ。	○		◎														
	スポーツ実技5(柔道)	SH3308	中学校・高等学校の授業において、適切かつ安全な指導ができることを目標とする。	○		◎														
	スポーツ実技6(ダンス)	SH3309	自らが積極的にダンスに取り組み、イメージやリズムの世界に没入し、他者と共感・交流しあう楽しさを味わうとともに、師範を積極的に示す態度と能力を身につける。	○		◎														
	スポーツ実技7(サッカー)	SH1309	サッカーの指導に使える基礎技術の修得および簡単な戦術の理解をとらしてゲームを楽しめるレベルを目指す。	○		◎														
	スポーツ実技8(バスケットボール)	SH1310	学校体育における球技の位置づけを理解し、特にゴール型の球技の代表としてのバスケットの基本技能の習得をめざす。同時に、インストラクションの際の知識も習得する。また、バスケットボール技術の上達のみならず、バスケットを通じたスポーツの楽しさを伝えられるようになる。	○		◎														
	スポーツ実技9(バレーボール)	SH2310	バレーボールに関する基礎的な技術の習得と各ポジションの役割などの専門的な知識を身につける。また、指導者として、基礎的な個人技術、チームとしての集団技能を身につけるための練習方法や指導法を修得し、指導現場で実践できるように目指す。	○		◎														
	スポーツ実技10(ソフトボール)	SH2311	投打捕の基本技術、練習方法、ルール(ローカルルール)、ゲームの進め方を学び、自身の技能を高めるだけでなく、併せて指導にも活かせる知識を身につける。	○		◎			▲		▲	▲								
	スポーツ実技16(テニス)	SH1311	基本的な技術の習得を中心とするが、実践的なゲームをする際に必要な応用的な技術並びにフェア・プレーの精神を向上させることを狙いとしている。更に学部の専門性として、テニスを適切に指導するための知識と技術を身につける。	○		◎														
	スポーツ実技17(ハンドボール)	SH3310	ハンドボールをおもしろくする技術構造および戦術理論を理解し、実践する能力を身につける。 ・ランニングシュートができるようになる・ジャンプシュートができるようになる・サイドシュートができるようになる ・ディフェンスシステムを理解し、試合で活動できるようにする ・ルールを理解し、審判ができるようになる・試合の運営ができるようになる	○		◎														
	スポーツ実技18(ラグビー)	SH3311	ラグビーのパス、ラン、キックといった球技的な技能を習得するとともに、身体接触(コンタクト)プレーの概要を理解する。	○		◎														
	スポーツ実技19(レクリエーション・ニュースポーツ)	SH2312	スポーツ的要素の大きいレクリエーション支援の基礎を習得する。数種類のニュースポーツを実践し、生涯スポーツとして支援、指導できる知識と方法論を習得する。	○	▲	◎		▲												
	スポーツ実技20(アダプテッドスポーツ)	SH3312	・さまざまな障害の特性および障害児の発達の特徴を理解し、個々に応じた体育・スポーツ指導と支援について理解する。 ・障害の有無を問わずインクルーシブな体育・スポーツ活動に参加する全ての人のニーズに応じた指導ができるようになる。	○	▲	◎		▲												
	学科専門科目	コーチング学	SH2313	コーチング現場の現状と課題を理解し、指導者に必要なコーチングの技術、能力等のコーチング学の基礎を身につける。また、スポーツの指導者(教師・コーチ)とはどうあるべきかを考え、求められる指導者への成長を目指す。			○			○	◎	○								
		スポーツトレーニング論	SH2103	正しいトレーニングの構造と発育発達にあつた方法を理解し、実生活に反映できるようにしていく。偏ったトレーニングのリスクとエネルギー源の確保を行うための知識を身につけると共に、個人や年代別のトレーニング計画を立案できるようにする。	○	▲				○	○	○	▲	○						
		スポーツコンディショニング論	SH2314	コンディショニングを左右するメカニズムを理解して、実際の競技や生活の中で目標が達成できる環境整備や体調管理を実践できるようにする。特に身体の歪みやアンバランスをチェックして、運動療法やストレッチを使った調整方法を学び、その手順を指導出来るようにする。また、テーピング実技を通じ、正しいテーピングの方法を習得する。	○	▲				○	○	○	▲	○						
		測定評価	SH2315	・種々の体力測定法を理解し、簡易なものに関しては実施できるようにする。 ・体育・健康・スポーツ科学に関するデータを収集するための基本的な測定ができるようになる。 ・体力測定によって得られたデータの意味を説明できるようにする。	◎				○	◎	○	○	▲	○						
体カトレーニング論		SH2316	スポーツ生理学をベースとした体力の概念、トレーニングの基本概念を学んだ上で、筋力、パワー、持久力などのエネルギー系のトレーニングの具体、さらに、コーディネーショントレーニングなどの神経系のトレーニングの具体について学ぶ。また、中高齢者、女性のトレーニングの考え方も学ぶ。最終的には、種々の対象に合わせた適切なトレーニング計画が立てられるようになりたい。	◎					○	○	○	▲	○							
スポーツ戦略戦術情報論		SH3313	「球技」を中心とした「競技スポーツ」を対象として、それに関連する戦略、戦術等について、専門的な知識を修得する。また、トップスポーツの現場におけるデータ分析の現状と戦略、戦術についての理解を深める。		▲				○	○	◎									
運動プログラム論		SH3314	様々な対象者が安全かつ効果的に運動実施するために、生活習慣病に対する正しい診断結果の理解と、服用などの治療状況の把握、運動のためのメディカルチェック結果の総合的評価を行うこと。またこの評価から対象者の希望もふまえた疾病の予防・改善、QOLの向上、レクリエーション、競技力向上などの運動目標設定や運動プログラムの構築理論を体得する。	◎	◎				○	○	○	▲								
体育・スポーツ政策論		SH2317	・体育・スポーツ政策に関する基本的事項を適切に説明することができる。 ・体育・スポーツ政策の今後のあり方に関する考えを論理的・説得的に説明できる。		◎				◎		○	▲								
高齢者運動スポーツ論		SH3315	・高齢者の身体的、精神的、社会的特徴を理解し、それがスポーツ実践やその指導方法などで活用できるようにする。 ・運動・スポーツを通して超高齢社会を支援できるようにする。 ・疾患の特徴を理解し、その特徴に応じた指導ができるようになる。 ・高齢者の運動継続について、その方法と意義を説明できるようにする。	◎	◎				○		○	▲	◎							
スポーツ指導法Ⅰ		SH3316	それぞれの領域において適切かつ安全に留意した指導を行える技能の習得を目指す。	○	▲	◎		▲	◎	◎	◎	◎								
スポーツ指導法Ⅱ		SH3317	陸上競技および水泳の基礎理論と指導法について理解し、指導計画を作成することができる。陸上競技および水泳の示範および指導、助言、補助ができる。陸上競技および水泳のルールや審判の方法、競技会の実施方法を理解し実践できる。	○	▲	◎		▲	◎	◎	◎	◎								
スポーツ文化論	SH3318	体育・スポーツの伝統、歴史、哲学について理解し、スポーツ文化をレガシーとして継承し、新しい価値を生み出していけるようになることを目的とする。	◎	○		○	◎		○	○										
スポーツ史	SH3319	主に以下の5つの内容を学ぶ。これらの内容を通して「スポーツ」に対する様々な見方を身につけることを目標とする。		○				○		○										
スポーツ栄養学	SH3320	・スポーツ栄養学の基礎知識を理解し、その知識をもとに説明できる。 ・運動量や目的などに合わせた具体的食事調整法などの実践的な知識や技術について説明できる。 ・自らの食生活や身体について興味を持ち、考えることができる。 ・様々なスポーツ競技・種目の特性と食事管理の違いについて説明できる。	▲							▲	○									

スポーツ健康学部スポーツ健康学科 カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	① スポーツ・健康に関する基本的知識を理解し、健康・体力の維持向上に対する運動・スポーツの効果を説明することができる。 ② 学校、企業、地域などにおけるスポーツ振興や健康増進活動を理解し、その概要と課題を説明できる。 ③ 主要な運動種目の技能、および指導の基本を実践できる。
	【思考・判断・表現力】	④ 情報を整理し、その結果をまとめるとともに、それらに関するプレゼンテーションを行うことができる。 ⑤ 社会におけるスポーツや健康に関する課題の実態を把握し、その関連要因、解決方法あるいは改善策を提示することができる。
	【態度】	⑥ 運動や健康に関する教育・指導に関して、実施の対象や諸条件に合わせて適宜企画し、実践の場面で臨機応変に改変し対応することができる。 ⑦ スポーツや健康に関する情報を積極的かつ広範に求める態度を身につけている。 ⑧ 課題解決に対して常に積極的に周囲と協力して取り組む態度を身につけている。 ⑨ 教育・指導の場面においては参加者(受講者など)の立場を考慮することができる。

分野	科目名	ナンバリング	科目概要(*1)	カリキュラム・マップ									AL(*2)	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
	保健体育科教育法1	SH2318	保健体育科の学習指導要領の内容を理解する。保健体育科の指導に必要な知識を習得する。保健体育科の学習指導案を作成することができるようになる。保健体育授業の教材の工夫や指導方法について理解を深める。	◎	◎	▲		◎	◎	○	▲			
	保健体育科教育法2	SH3321	・学習指導要領・保健体育編に示された目標、学習内容、指導法の基本的な事項について理解することができる。 ・体育領域、保健領域について実践的な指導案を作成することができる	◎	◎	▲		◎	◎	○	▲			
健康科学科目 学科専門科目	健康管理論	SH2319	健康であることの意味を理解し、その維持・管理ができるような基礎を作る。と同時に、体温、心拍数、血圧、体脂肪量など基本的な項目について自己で測定し、体調の判定ができる能力を身に付ける。	◎	◎		◎	◎		○		◎		
	健康運動教育論	SH2104	・健康づくりに関する基本的な知識を習得し、説明することができるようになる ・社会における健康課題の実態を把握し、解決策や改善策を提示することができるようになる ・健康課題の解決に対して常に積極的に周囲と協力して取り組むことができるようになる ・行動変容を理解し、取り組むことができるようになる	○	◎		◎	◎		○		◎		
	衛生学・公衆衛生学	SH2320	国民全体に関わる幅広い健康問題とその背景を理解し、これらを解決するための社会制度、行政の活動、医療の関わりなどを理解し、説明できること。また、人間の健康づくり、健康で安心な社会の実現などの課題を実現する上で、医療専門家の実践活動が果たす役割を学び、生活、医療の主要な場面でこれらの専門家の活動のあり方が説明できることを目標とする。	○	◎			◎		○				
	保健統計	SH3322	保健統計資料の見方を学び、健康・スポーツ科学の現状を統計資料から把握するすべを身につける。自ら、調査を実施できるようになることを目標とし、得られたデータに対しても適切に統計処理を施し、客観的な結果の検討ができるようになる。	○	◎			◎		○				
	運動障害と予防	SH3323	スポーツの指導者、管理者になった場合に、対応できる能力の獲得を目標とする。	◎	◎			◎		○				
	学校保健Ⅱ(学校安全・救急処置含む)	SH2321	学校安全や危機管理の意義や目的を理解し、過去の事例などから今後の課題などを理解する。特にスポーツ場面における安全確保の方法(特に応急手当)について理解する。	○	○			○		○				
	スポーツ薬理学	SH3324	スポーツを学ぶ者にとって知っておきたい薬の知識について説明できる。薬の作用機序を基に、アンチ・ドーピング規程、禁止表国際基準について説明できる。	◎	○			◎		○				
	健康とセルフメディケーション	SH3325	健康・医療に関する正しい情報を入手し、自分の健康に責任をもつために知っておくべきセルフメディケーションについて説明できる。OTC医薬品、医薬部外品や機能性表示食品などについての理解を基に、生活習慣病の予防や健康維持に役立てることができる。	◎	○			◎		○				
	健康レクリエーション実習	SH3326	・レクリエーション要素を多く含んだ運動を正しく指導できるようになる ・健康増進を目的とした運動を正しく指導できるようになる ・高齢者に対する運動指導を計画し、実践の場面で臨機応変に対応しながら実行することができるようになる ・健康運動教室に参加する高齢者の立場を理解し、対応することができるようになる ・指導者として、身体の動きを高齢者に言葉で表現できるようになる ・健康づくりに関するイベントの立案・実行ができるようになる	▲	▲	○	○	▲	◎	○	○	◎		
	健康運動実習	SH4301	高齢者における運動負荷試験の理論および実施方法を習得すること。高齢者の運動実施法およびそのための留意事項の詳細を理解し、指導の場で実践できるようにすること。	▲	▲	○	○	○	◎	○	○	◎		
	医学一般(各論)	SH2322	人体の構造と機能を細胞、組織、器官、個人の各視点で捉える。臓器別、疾患別の臨床医学の情報を学び、疾病の成り立ちと回復の促進を理解する。	◎	◎			○		○				
	予防医学	SH2323	生活習慣から起こりうる疾病の予防に対する理解を深め、将来、予防医学に携わる立場となった時に必要とされる基本的な知識を得ることを目標とします。また、基本的な医学的思考力、論理的思考力を会得することを目指します。	◎	◎			○		○				
	救急処置の理論と実習	SH2324	救急時の状況を理解でき、適切な対応、処置ができる。心肺蘇生法の意味を理解し、実行できる。	◎	◎			○		○				
	健康フィールドワーク	SH3327	ジュニア期の健康や運動、野外活動に関する理論を理解し、実際に運営できるようにすること。	○	▲	○	○	○	◎	○	◎	○		
	生涯発達心理学	SH3328	人間の受精から死に至る発達過程に関する発達心理学的知見を学習することを通して、受講者自身の発達過程に関する自己理解を深める。また、人間の発達、成長にはどのような要因が影響しているのかについて再考し、受講者自身の自己理解ならび他者理解、そして人間関係の相互性の理解を助け、発達における教育の役割について理解を深める。	○	▲			○		○	◎			
	演習科目	専門演習	SH2105	担当教員ごとに個別の達成目標	○	○		◎	○	○	◎	◎		
		研究演習	SH3101	担当教員ごとに個別の達成目標	▲	▲		◎	○	○	◎	◎		
卒業研究		SH4101	担当教員ごとに個別の達成目標	▲	▲		◎	○	○	◎	◎			
教職実践演習(中・高)		SH4302	・これまでの学修を振り返り、将来教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚することができる。 ・前述を踏まえ、課題研究を遂行し、不足している知識や技能等を補うことができる。 ・課題研究の振り返りを踏まえ、キャリアプランを作成することができる。		◎		◎	○	◎	◎	◎			